

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果 令和8年度7月28日 単位:細胞数/㎖

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (℃)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシグマ ・アカシオ	マーガレフィディニウム (旧)コクロディニウム ・ホリクリコイテス	ノクチルカ ・シンチランス
1. 夏井沖	10:35	0	26.1	33.18	6.3	0	0	0	0	
		5	24.8	33.35	6.7	0	0	0	0	
		15	24.2	33.41	7.3	0	0	0	0	
		25	24.0	33.57	7.4	0	0	0	0	
		35	23.6	33.60	6.7	0	0	0	0	
		41	22.5	33.57	6.6	0	0	0	0	
2. 長田沖	10:57	0	26.4	32.51	6.3	0	0	0	0	
		5	24.4	33.30	7.3	0	0	0	0	
3. 片白島	7月29日(水)に調査予定									
4. 小田代										
5. 沖松浦漁港										
6. 鶴見振興局裏										
7. 鶴見ポンツーン										
8. 石間										
9. 霞ヶ浦										
10. 守後										
11. 片神										
12. 片神～彦島										
13. 水試前										1,200

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

※地点3～13は7月29日に調査予定

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/㎖)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラspp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモイ	200以上	2000以上
コクロディニウム・ホリクリコイテス	30以上	300以上

* 警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

* アワビ、サザエ等ではカレニア・ミキモイで100～200細胞/㎖で斃死する可能性があります。

* マグロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とします。

HAIセンサーで観測された有害プランクトン(カレニア・ミキモイ、シャットネラ属)情報

採水地点	調査時間	水深(m)	水温(℃)	FSI値
(14)長田沖2		0		
		5		

※有害プランクトン検出:FSI値が1.95以上

連絡事項

有害プランクトンは確認されませんでした。

13.水試前で、ノクチルカ・シンチランス(夜光虫)が高密度で確認されています。
(表層 最大1,200 細胞/㎖ 着色あり)

今後の細胞密度の推移にご注意ください。

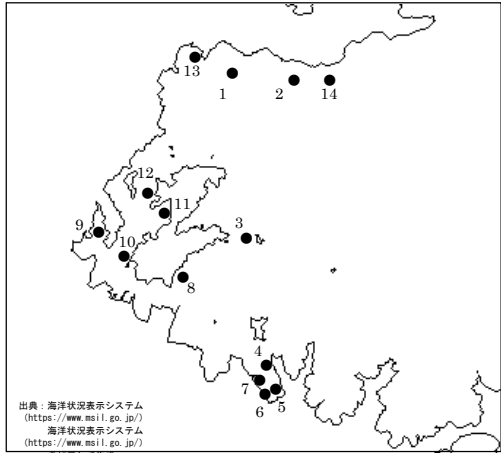
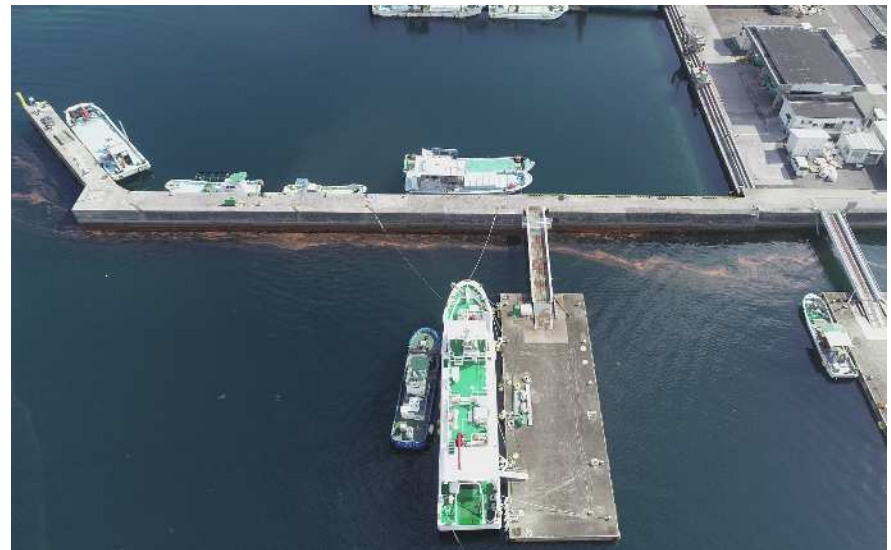


図. 調査定点図

【ドローン写真】



水試筏



浅海井漁港の豊洋浮き棧橋